

No.44



日本ハンドボール協会公式記録用紙

ハンドボール

No. ⑤ (16名用)

スローオフチーム

A	三重県	兵庫県	B
合計			合計

A 藪内弘志 7mTC 向井勝二 B

A	三重県	警告	退場	失格	チームタイムアウト		得点
					前半	後半	
役員A	藪内 弘志						
役員B	千種 雄介						
役員C	瀧 文弥						
役員D	山崎 晃						
1	宮澤 悠太						
2	加藤 大暉						
3	伊藤 聖哉						
4	北川 竜丞						
5	野呂 郁貴						
6	矢倉 佑亮						
7	藤塚 駿						
8	森田 勇輝						
9	井上 蒼満						
10	水越 章太						
11	大杉 拓巳						
12	浦口 豊照						
合計							

B	兵庫県	警告	退場	失格	チームタイムアウト		得点
					前半	後半	
役員A	向井 勝二						
役員B	上野 修一						
役員C	波多野 祐介						
役員D	竹内 敦子						
1	小林 翔斗						
2	木本 惇貴						
3	神本 洸太						
4	穴田 凌也						
5	朝長 徹太						
6	六磨 優也						
7	馬庭 拓斗						
8	本田 大賀						
9	福田 翔也						
10	高井 聖						
11	西川 航太						
12	荒瀬 太樹						
合計							

タイムキーパー 松添将也 スコアラー 山下樹人
 サイン 澤田英二 審判員2 船島圭太
 TD1 小水 勇 審判員1 小水 勇
 サイン 小水 勇 TD2 小水 勇

大会名	平成27年度 第70回国民体育大会ハンドボール競技会		
開催日	平成27年 9月 28日 (月) 場所 和歌山ビッグホエール		
種別	少年	男	第1回戦 準決 決 リーグ

背番	A		前半		B		後半		B	
	結果	得点	時	間	得点	結果	時	間	得点	結果
5	×									
					33	0				
					32				33	

特記事項

No.45 ハンドボール

第70回国民体育大会 紀の国わかやま国体 ハンドボール競技会 戦評報告書

競技日	平成27年 9月28日	試合番号	A-⑤
種別・回戦	少年男子 1回戦	会場	ビッグホエール (A)

みえけん 三重県			ひょうごけん 兵庫県			得点チェック欄	
32	9	前半	12	33	前半	<input type="checkbox"/>	
	16	後半	13		後半	<input type="checkbox"/>	
	1	第1延長 前半	1		第1延長	<input type="checkbox"/>	
	1	第1延長 後半	1		第2延長	<input type="checkbox"/>	
		第2延長 前半			7mTC	<input type="checkbox"/>	
		第2延長 後半			合計点	<input type="checkbox"/>	
	5	7mTC	6		記録主任確認	<input type="checkbox"/>	

戦評	戦評委員氏名	香西 中野
<p>両チームとも無得点のまま2分が経過する形で試合が始まった。その試合展開は三重2番加藤の退場によって動き始めた。人数が1人少ない三重が7mスローを兵庫に与えてしまい、兵庫8番本田のゴールが試合の初得点となる。その後、三重9番井上のゴールにより、すぐに同点とし、両チームの得点の奪い合い、シーソーゲームが続いていく。三重3番伊藤がチーム内で4連続得点を決める活躍を見せるが、兵庫9番福田を軸にスピーディーなパスワークを展開していき、少しずつ得点を重ね、兵庫がリードを取る形となる。前半終了間際、三重のフリースローから3番伊藤の技ありシュートを見せるが、兵庫が12対9とリードをしたまま前半を終了した。</p> <p>後半からは、兵庫の両サイドプレーヤーが巧みに得点を重ねるが、三重も2番加藤、3番伊藤の勢いある速攻で得点を重ねていく。両チームとも一進一退の攻防を続け互角な勝負を見せるが、終了3分前兵庫が立て続けに退場者を出してしまい1分半、2人少ない状況になり、このチャンスに三重が攻め続ける展開になった。終了1分前で1点差まで持ち込み、15秒前で三重1番ゴールキーパー宮澤のナイスプレーからの速攻を9番井上のサイドシュートにより、終了5秒前で同点に持ち込み、延長戦にもつれ込む。</p> <p>延長前半、三重11番大杉が退場し、兵庫に7mスローを与えるが三重12番浦口がピンチキーパーとして出場し見事にゴールを阻止する。両者1点ずつ加え同点のまま延長前半が終了する。</p> <p>延長後半、兵庫7番馬庭が先制し、1番小林ゴールキーパーがナイスセーブするものの、三重2番加藤の気合いあるシュートで同点になり、勝負の行方は7mスロー勝負となる。</p> <p>両チームともシュートミスをする事なく、次々と進んでいき、試合が動いたのは第6球目。兵庫1番小林のナイスセーブがあり、そのあと、7番馬庭のシュートが決まり、33対32で兵庫が接戦を勝ち取った。</p>		

送信担当記録委員

倉谷 宣宏

